

# 安芸市最奥ブナの森 駒背山～西又山



伊尾木川源流の馬向背山から西又山にかけては  
民有林・国有林を含めてスナモはじめ天然林が広がる。  
安芸市最奥の山々は、標高1,300mを越えて連なる  
スナモの生育は県東部ではこの山域だけとなる。  
また、馬向背山スナモ林は故北川永昌氏が戦後  
次々と伐採される山々の姿に心を痛め、この山を後世に  
残さねばならない考えのもと平成13年に安芸市に  
寄附され自然体験の場、伊尾木川の水源、りん養林  
として大切に保全工されている。(登山口案内板より)

1929年の安芸市合併までは旧東川村の一つであった。  
徳島県境と接し、久場山(1417m)、杉ノ谷山(4362m)  
宝蔵山(1,249m)など1300~1400メートルの山々に囲まれている。  
明治期には森林軌道による木材搬出がされていて、  
伊尾木町木場まで7時間ほどかかったといふ。  
安芸市元気バスが週2回(火木)往復する。  
アメコの養殖場もあり、静かで穏やかな  
山里である。

途中はほぼ一車線。古井よりは路面の荒れや落石も少ない。運転慎重に。

## 市道別役古井線

土居

別役公民館  
西丸塚内板

甲辰木川

上流にさかのぼるごとに  
急峻な山がついに七切り立ち  
岩の間を澄して流れゆくが  
流れている。

ここは  
国民の森林  
国有林  
汗谷向山30林班

国有林  
境界標

高，河山  
1.364m

山頂は  
晴らし

重力に逆らうながら  
汗を流して山づくりを  
している姿が目に浮かぶ

A cartoon illustration of a young boy with dark hair, wearing an orange jacket over a white shirt and blue pants. He is holding a toy airplane in his right hand and has his left hand near his head. The background shows a green hillside.

このスケルは馬鹿者山  
登山口～高ノ河山～  
西又山～別役公民館  
まわりをもとに作製してほ。  
時間はおおよその参考にて  
下さい。  
熊に会っても人に会うことは  
ありません。一人入山はさけ  
て下さい。

西又山～公民館  
[時間]30分

まよったう  
テレビ受信-フル目標

フナヤ  
ヒメシヤラ

道標と夕景

ブロ

道わかり  
たくない

馬路村

四國山地  
第三回

境界標目印

高，河～西又山は  
1時間～1時間30分

名前しか知らないが、た  
山に登る。  
その時から、その山は  
自分の山になる